



第3会場●2F 第4研修室

■司 会/好満 修 広島県教育委員会生涯学習課、主任主事
吉丸みさ子 福岡県穂波町立高田小学校 教諭

1 ブックスタートから始まる親子読書活動 10:45～11:10

ー子育てサロン・おはなし情報局の実践よりー

遠藤ゆかり（鳥取県境港市） 子どもセンター ボランティアコーディネーター

境港市は平成14年にブックスタートを開始、その後月1回の子育てサロンと組み合わせて親子の読書活動をサポート。5団体の読み聞かせグループの協力を得て、幼児と小学生を対象別に「おはなし情報局（おはなし会）」を実施している。また、読書活動支援者養成講座（託児付）も開催。課題は、父親及び孫育中の祖父母の参加者の獲得である。

2 「里山元気塾」の地域振興、交流促進プログラムの原理と方法 11:10～11:35

小谷 博徳（鳥取県日野町） 里山元気塾 塾長

小学校の統廃合を契機に、地域の地盤沈下を食い止める目的で「里山元気塾」を設立。地元高齢者を中心に農産物加工・販売を起点として出発。スローフード運動を推進すると同時に、地域活性化交流の促進を掲げて「里山ものづくり大学」を起こして、職の創造につなげ、「若者地域づくり」事業にもつなげている。年間を通じて定期的な活動を続けており、人脈を活用した参加者の確保によって事業は黒字決算に漕ぎ着けている。

3 廃校の活用による「元気の森かじか」の地域づくり 11:35～12:00

濱田 孝正（熊本県美里町） 元気の森かじか 館長

NPOシステムによる施設運営を取り入れ、活動の中心はNPO元気の森、自主グループ「キッチンかじか」及び登録ボランティアであるが、町外の団体とのパートナーシップも組んで多様な参加と広がりを実現している。目的は子どもの体験による育成と元の小学校区を基盤とする地域の「元気」づくり。現在「セルフ型」の体験プログラムを開発中。

4 総括討論 12:00～12:30